

日 時 令和6年12月9日(月) 3校時
 場 所 小学部4年教室
 指導者 佐藤加奈子

1 単元名

言葉を使って伝えよう② 一きりたんぼ工場のひみつー

2 単元の目標

- (1) 日常生活で使う平仮名・片仮名・漢字や助詞の使い方を理解する。
- (2) 見たり聞いたり想像したりしたことについて、事柄の順序に沿って構成を考えたり、言葉の意味の違いを理解して適切に書き表したりする。
- (3) 伝えたい相手を意識しながら書いたり、大切な内容を聞き取ったりする活動に進んで取り組む。

3 児童と単元

(1) 児童の実態

ア 見え方の特徴

氏名	学年	遠距離視力	近距離視力	最大視認力	備 考
A	4	右 (0.08) 左 (0.08)	右 (0.09) 左 (0.09)	左 (0.5) / 4 cm	眼皮膚白皮症 自閉スペクトラム症

イ 主な学習状況(基礎学力、学習手段等)

本学級には準ずる教育課程で学習している男児1名が在籍している。昨年度の春に小学校の弱視学級から本校に転入した。26P 拡大教科書を使用しており、対象物に近付いて見たり書いたりしている。また、細かいものを見るときは拡大読書器を使用している。羞明が強いため、遮光眼鏡を装用しており、天気等の環境によって自分で教室内の光量をカーテンで調節しながら学習している。

本児は、見聞きしたことや自分の好きなことについて周囲の人と話すことが好きである。しかし、伝えたいことがたくさんある一方で、語彙の少なさから状況に合った言葉の選択がうまくできず、伝えることをあきらめてしまったり苛立ちを感じたりする様子が見られる。また、今年度途中までは、文字を書いたり読んだりすることや初めての活動に強い苦手意識があり、国語科に限らず、文字を使った学習の場から離れようとする様子が見られた。学校生活全体で行動に落ち着きが出てくるとともに、分かち書きされた文章を読んだり、漢字に興味をもったりする姿が見られるようになってきたため、本児の興味・関心と集中力の持続時間に合わせて下学年対応での教科学習を行っている。

本児は、衝動性が強い一面があるものの、作業を伴う活動や興味・関心のあることに関しては長時間集中して取り組む力がある。また、物事の仕組みや裏側に関心があり、深く掘り下げて知ろうとしたり、既習の事項と新たな学びを結び付けて考えたりすることができる。また、物事を視覚的に捉える力があり、理解したことをイラストで表現することを得意としている。そのため、これまで自分が知ったことを動画や写真、イラストを使いながらまとめる活動に意欲的に取り組んでおり、特に動画編集の活動では視覚的手掛かりを活用する場面が多いことから、進んで言葉や文章を書いたり、漢字変換したりする様子が見られるようになってきている。

(2) 単元観

これまで国語科では、「言葉を使って伝えよう①―カエルの観察―」として、理科との関連を図りながら、カエルの飼育の様子を写真や動画で記録し、気付いたことや驚いたことを約10分の動画にまとめる学習を行った。カエルが頭を振り回しながら蚊を食べる瞬間や、愛着をもって飼育したカエルとの別れの場面など、カエルの様々な姿にテロップと音声で解説を付けた。文字で表現したり、伝えたいことを言葉にしたりすることに苦手意識のある本児が、動画の編集を通して進んで文字で表したり、表し方を工夫したりする姿が見られるようになってきた。

本単元は、11月に社会科で見学したきりたんぼ工場について、本児が発見したことや驚いたことを周囲の人に文字情報付きの動画で伝えることを目的としている。工場見学は本児にとって関心の高い活動の一つである。本児は身の回りの事象を様々な視点で捉え、新しい知識を既存の知識と照らし合わせて共通点や相違点に気づき、それを「面白さ」として実感することができる。きりたんぼ工場で心が動いた場面を捉え、動画や写真を活用するなど、本児の関心の高い活動を学習の中心に据えることで、文字や文章を考え、書く（入力する）活動に意欲的に取り組むことができるようになる。また、見学を通して知ったことや面白いと感じた対象について、言葉の選び方や使い方によって意味が変わることに気づき、自分が表現する言葉について問い直す姿を目指したい。さらに、動画編集の活動の前に漢字の学習や説明文の読み聞かせクイズの活動を取り入れ、動画編集の場面で本児が活用したり、今後の書字や読み取りの学習につなげたりできるようにする。

本児の関心の高い活動とそれに関連する漢字や文章を扱い、総合的に文字や文に親しむ環境を設定することで、言葉に着目しながら表現したり、伝える喜びを実感したりできるのではないかと考え、本単元を設定した。

※下線部は、小学校国語科における「言葉による見方・考え方」のうち、本単元で大切にしたいことを表す。

(3) 学習指導における留意点

ア 主体的に学習活動に向かうために

- ・イメージを広げ、文字や言葉を使った活動に進んで取り組めるように、写真や動画などの視覚を活用した言語表現の活動を設定する。
- ・自信をもって漢字を使うことができるように、既習漢字の間違い探しをする活動を取り入れ、どの部分がどう違うのか、言語化できるよう問いかける。
- ・活動に見通しと期待感をもち、気持ちをコントロールしながら進んで学習活動に取り組むことができるように、学習活動の順序を自分で組み立てる時間を設ける。
- ・学習が積み重なっていることを視覚的に実感することができるように、学習プリントを掲示する活動を設定する。

イ 文字で伝えることの楽しさを感じるために

- ・文字にすることで伝えたいことが強調され、相手にはっきりと伝わるのが分かるように、きりたんぼ工場や機械の仕組み、一日の生産数など、本児が工場見学の中で驚いたり感心したりしたことをテロップに起こす活動を設定する。

ウ 言葉への気付きや考えを深めるために

- ・伝えたいことがより正しく伝わる言葉や文章を考えられるように、本児にその言葉を選んだ理由を問い掛けたり、その場面の様子について動画で振り返る時間をとったりする。
- ・本児が伝えたいイメージに近い言葉で表現できるように、発した言葉に類似する言葉を提示し、本児が選択する場面を設ける。
- ・言葉の意味を考えることができるように、発した言葉のイメージを絵で表したり、体で動きを

表現したりする活動を設定する。

- 使った言葉が映像や伝えたいことと合っているか、前後の言葉と合っているか問い直すことができるように、編集集中の動画を通して視聴する時間を設定する。
- 言葉について考えるヒントとなるように、音楽や効果音について考える時間を設定する。またそれだけに終始することを防ぐため、編集集中にアイデアが浮かんだときは、活動が途切れないように教師がメモに書き留める。

エ 一定の時間集中して取り組むために

- 集中力を保って活動することができるように、一単位時間内を「漢字」「読み聞かせ」「写真へのコメント記入」等、短く時間を区切った学習活動で構成する。また、それらの学習活動が中心となる活動と関連するよう配慮する。
- 一つ一つの活動の区切りが分かりやすいように、学習プリントを掲示したりファイルに保管したりする活動を設定する。

4 単元の指導計画

総時数 10時間

小単元名	主な評価基準【評価方法】	時数
(1) きりたんぼ作りの工程をまとめよう	<p>知 「が」「を」「に」「で」を使う時の意味の違いを理解している。【発言、プリント】</p> <p>思 きりたんぼ作りの工程を順序に沿ってまとめ、工程を表す名前を付けることができる。【発言、成果物】</p> <p>態 きりたんぼの歴史や工場の仕組みに関心をもち、驚いたことを進んで教師に伝えようとしている。【発言、行動観察】</p>	5
(2) 気付いたことを文字や言葉で付け加えよう	<p>知 簡単な漢字を使ったり、平仮名・片仮名・漢字を使い分けたりしながら言葉や文を作っている。【成果物】</p> <p>思 言葉の意味や相手への伝わり方を考えながら書いたり入力したりしている。【発言、成果物、行動観察】</p> <p>態 知っている漢字を進んで使おうとしたり、相手に伝わる言葉を選ぼうとしたりしている。【発言、成果物、行動観察】</p>	4 本時 1/4
(3) まとめをしよう	<p>思 きりたんぼ工場で知った「ひみつ」の要点について、自分の言葉で表現している。【発言、行動観察】</p> <p>思 きりたんぼ工場のひみつを周囲の人に伝える方法（動画視聴の場や印刷物作成など）を考えている。【発言】</p> <p>態 まとめたことを周囲の人に伝えたいという気持ちをもって取り組んでいる。【発言、行動観察】</p>	1

5 本時の指導

(1) 本時の目標

きりたんぼ工場で見学した機械や働く人の特徴(面白さ)について、言葉を選びながら表現する。

(2) 展開

ア時間	学習活動	イ 教師の働き掛けと留意点	ウ 評価基準
5分	1 学習課題を知り、活動の順序を決める。	(ア)今日の学習に見通しがもてるように、ホワイトボードに学習内容と学習課題を書いて提示する。	
学習課題：工場の機械やきりたんぼの気持ちになって、動画にせりふを入れよう。			
35分	2 自分で組み立てた順に学習を進める。 ※(1)～(4)の活動を児童が決めた順序に行う。	(イ)集中力を維持しながら学習することができるように、「書く・読む・聞く・話す」等のねらいに応じた短い活動を組み合わせる。 (ウ)☑学習に見通しや期待感をもつとともに、自分で決めたことを最後までやり遂げる経験となるように、学習の順序を自分で決める活動を設定する。	
	(1)漢字の間違い探し 【書く】 ・米 ・火 ・焼	(エ)活動に意欲的に取り組むとともに、既習漢字が確実に身に付くように、一部分が間違っている漢字を提示し、訂正する活動を設定する。	
	(2)写真に言葉を入れましょう 【書く・話す】 ・工場の様子 ・きりたんぼ料理	(オ)☑相手の立場で物事を考えたり、書く活動に楽しさを感じたりできるように、吹き出しにせりふを入れる活動を設定する。 (カ)児童が書くことに対して前向きな気持ちをもつことができるように、せりふの量によって書字量を調整する。 (キ)☑考えたことの原因を話す経験を積み重ねることができるように、提示した写真から読み取れる場面について児童と会話する時間をとる。また、考えたせりふの背景について問い掛ける。	
	(3)おはなしクイズ 【聞く・読む】 ・きりたんぼ鍋の作り方	(ク)内容に大まかな見当をつけ、イメージをふくらませながら話を聞くことができるように、話に関するイラストを提示する。 (ケ)自分で答え合わせができるように、最後に話の本文を提示する。	
	(4)動画編集 【書く・読む】 ・きりたんぼ工場の動画	(コ)進んで漢字変換に取り組めるように、文字入力の場面で予測変換の文字に注目するよう言葉掛けをする。 (サ)同音異義語の中から正しいものを選ぶように、ホワイトボードに文字を書き出し、漢字の形や意味について問い掛ける。 (シ)伝えたいイメージに合う言葉が浮かんでこない様子が見られる場合は、3～4つの選択肢を提示する。また、選択した理由を問い掛ける。 (ス)絵文字を使いたいという希望がある場合は、言葉と組み合わせるようアドバイスする。 (セ)☑活動に区切りを付けやすいように、動画編集	☑ 伝えたいことを平仮名・片仮名・漢字を使い分けながら言葉や文章で表現している。 ☑ 伝えたいことが相手に伝わるか、言葉や文章

		<p>の活動時間を確認し、タイマーを設定する。</p> <p>(ソ)使った言葉が映像と合っているか、見た人に伝わるか問い直すことができるように、編集集中の動画を通して視聴する時間を設定する。</p>	<p>について問い直しながら活動しようとしている。</p>
5分	3 振り返りをする。	<p>(タ)今日の学習課題を振り返り、動画編集で特に気に入ったせりふや場面について問い掛ける。また、教師の評価も伝え、シールブック(がんばったことをまとめた冊子)に記録する。</p> <p>(チ)次回の学習に期待感をもてるように、学習内容について確認する。</p>	

(3) 評価

ア 児童 評価基準を基に評価する。

イ 教師

(ア) 児童が知っている漢字や助詞を使い、進んで言語表現をするための学習活動の組み立てや教材は適切だったか。

(イ) 児童が言葉の意味の違いについて考え、適切な言葉を選びながら活動するための教師の働き掛けは適切だったか。

〈指導案表記の説明〉

・評価基準について

知は、知識・理解、思は、思考・判断・表現、態は、主体的に学習に取り組む態度を示す。

・自立活動の指導と関連がある留意点については、文頭に自を書いて示す。

・対話を引き出すための働き掛け(発問、板書、教材等)は太字で表す。